

社会福祉法人 大阪市手をつなぐ育成会
大阪市天王寺区東高津町12-10
大阪市立社会福祉センターB1F
発行責任者 長谷川 美智代
TEL 06(6765)5621 FAX 06(6765)5623
<https://city-osaka-ikuseikai.or.jp>
定価 10円



大阪市手をつなぐ育成会 法人理念

障がいのある人が 安心して 心豊かに すごせるように

特別支援教育に関する「保護者講座」に参加して

理事長 長谷川 美智代

8月18日（金）大阪市教育委員会事務局指導部インクルーシブ教育推進担当主催の特別支援教育に関する「保護者講座」に参加させていただきました。今回の講座は、「障がいのある子どもの就学・進学について」～障がいのある児童生徒の学びの充実に向けて～という題目で、募集の対象は、大阪市に在住する幼児児童生徒の保護者でした。同じ内容で、21日（月）にも講座が開催されましたが、両日とも多数の申し込みがあり、80名の定員は、ほぼ埋まったとのことでした。

大阪市における障がいのある児童生徒の小・中学校及び義務教育学校の学びの場としては、「通常学級」「特別支援学級」「通級による指導」があり、多様な学びの場として、視覚障がい、聴覚障がい、知的障がい、肢体不自由、病弱の子どもを対象とした特別支援学校（府立支援学校）もあります。大阪市の学校には、特別支援学級が全校に設置されていますが、通級指導教室は一部の学校での開設となっており、通級指導教室が在籍校に設置されていない児童生徒は、他校の通級指導教室開設校に通い（他校通級）、指導を受けます。大阪市では、現在、他校に通う通級指導教室を17校に開設していますが、数は少ないとのことでした。他校通級は、保護者の送迎の負担等もあり、登校が難しい場合は、自校の特別支援学級に在籍するケースもあるようです。

そこで大阪市では、障がいのある児童生徒が、一人ひとりの教育的ニーズに合わせた指導・支援が受けられるよう、「通級による指導」の拡充を図り、自校通級を全校に開設することになりました。市内の小・中学校約400校に順次開設していき、令和8

年度には、全校に通級指導教室を設置する予定です。以上のことは、在籍校の開設年度のお知らせも含め、保護者への案内として全校に配布されています。

次に、大阪市の就学・進学、入学までの流れについての説明がありました。大阪市の就学に向けた基本的な考え方として、障がいのある子どもの人権尊重を図り、地域で「共に学び、共に育ち、共に生きる」ことを基本とした教育・保育の推進に努めており、地域の小学校・中学校・義務教育学校で学ぶことを基本にしています。また、障がいのある子どもの就学先を決める際には、本人・保護者の意向を最大限尊重しているため、障がいが重度であるからといって、特別支援学校（府立支援学校）を勧めるわけではありません。

入学までの流れとしては、通学地域の小学校が窓口となり、就学する前年度の4月から就学相談ができます。その後、特別支援学校の学校見学・就学相談、学校選択制（通学区域校以外の学校を選択）の希望調査が行われ、11月頃までに就学先を決定し、「通常学級（通級による指導）で学ぶ」「特別支援学級で学ぶ」「特別支援学校（府立支援学校）に就学する」等、就学先の希望について相談した小学校に伝えることになっています。

続いて、「障がいのある子どもの学びの充実」という項目で、それぞれの学びの場における指導内容の説明がありました。「通常学級」「特別支援学級」「通級による指導」の3つの学びの場の中から、個々の障がい状況に応じて、いずれの場で学ぶことが適切かを判断する必要があります。「通常学級での学び」においては、個々の障がいに応じた配慮を受けながら（合理的配慮）、通常の教育課程に基づく指導が受けられます。「特別支援学級での学び」においては、障がいによる学習上または生活上の困難を克服する